

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2025年1月14日
商工中金

建設機械部品を製造する株式会社兼廣を ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（神戸支店）は、株式会社兼廣（本社：兵庫県神戸市、代表者：橋本 廣）に対し、サステナブル経営に必要な資金1億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、ショベルやクレーン等建設機械の車体部品を製造しています。日本国内及び中国上海市に生産拠点を構え、設計・開発から製造までの一貫対応力を強みに、顧客の多様なニーズに対応しています。

今回同社は、省エネ設備の導入やプラスチックコンテナの導入による省資源化等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社兼廣の概要】

所在地	兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和777-1
代表者	橋本 廣
業種	建設機械製造業
資本金	2,000万円
従業員数	118名（2024年7月時点）
設立	1970年6月

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※) 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト(ポジティブな影響・ネガティブな影響)の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして株日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

社会全体のサステナビリティ向上



- お客様の経営支援
- 持続可能な社会実現への貢献
- サステナビリティ経営の強化・企業価値向上
- ステークホルダーとの共感・関係強化